



A charming volunteer!

活発に活動をされている魅力的なボランティアを紹介しています。
みなさんいろいろな活動をされていますよ!



遊び場を考える会

岡本 和子 さん

岡本さんの体験 1

ボランティアを始めたきっかけは？

初めてプレーパークを知ったのは、東京に住んでいた10年前、世田谷に4つある常設のプレーパークのうちの1つ「駒沢はらっぱプレーパーク」に3歳の我が子と一緒にいった時です。

そこにいる子どもたちは、どの子も目を輝かせて思い思いの遊びをし、生き生きとしていました。一緒に遊ぶうちに、他者への思いやりが自然に見られたり、全身からみなぎるエネルギーも感じられ、本当の意味のたくましさを目の当たりにし、「これが本来の子どもの姿なんだ!」と思い知らされた気がしました。

我が子が幼稚園に入る年に倉敷に戻ってきました。東京とは住宅事情も違い、自然もまだまだたくさんありますが、都会の子どもも地方の子どもも同じで、子どもがやってみたいと思うことが出来る「場」がありませんでした。そこで、子どもの育つ環境に疑問を持つ人たちと一緒に「遊び場を考える会」を立ち上げて5年目になります。

『自分の責任で自由に遊ぶ』をモットーに掲げ、子どもがやってみたいと思うことが出来る「場」冒険遊び場(プレーパーク)づくりをしています。

パレットメモ



冒険遊び場を支えるボランティアの入門講座に参加しませんか？

- ◎日時：平成17年6月4日(土)～5日(日)
- ◎場所：6/4 くらしき健康福祉プラザ 201研修室
6/5 酒津公園(現場実習)
- ◎参加費：300円(ボランティア活動保険料)
- ◎申込締切：平成17年5月13日(必着)
※30名になり次第締切
- ◎申込・お問合せ先 遊び場を考える会
TEL&FAX 086-421-6378(岡本)

詳細は、岡本さんまでご連絡下さい!



活動後スタッフ・サポーターでの振り返りの様子

7

岡本さんの体験 2

私たちはこんな活動をしています!

遊具は手作りで、既成のものは置いていません。作ってはこわしの繰り返しで、そのため、場所として完成するということはありません。

遊びの素材は、火、水、土、竹、木などの自然の物が中心です。

大人が決めたルールやプログラムがなく、子どもは好きな時に来て、好きな時に帰ることはもちろん、何をしてもしないのもその子の意思に任せています。

そこに行けば必ず誰かいる、そういう機能を持った「場」として設定することで、誰かと約束しなくても一人で来ることができます。

また、プレーパークは、子どもだけではなく大人の居場所にもなっています。



木の上で子どもたちが小屋作り



穴掘り



水かけ



人気のリヤカー

Part 11

募集

体験談

講座・イベント

お役立ち情報

仲間になりませんか？

プレーパークは、子どもたちが自由にいきいきと遊べる場を!と願ってできた遊び場です。その運営は住民が担うことで初めて火が自由にたけたり、木登りができるようになっています。だからこのプレーパークを支えるためには、たくさんの人たちの支援が必要です。地域には、いろんな力を持った人がたくさんいます。遊び場を通して人と人が出会い地域がつながっていく、きっとステキなことが起こると思うのです。なんだか面白そう、いいなあ~と思った人、関わられる範囲でOKです。みんなで楽しい遊び場をつくりましょう☺



8